

医療技術学科新聞

2018年
2月号

福永先生最終講義

2月21日(水)に今年度をもって退職される福永先生の最終講義が行われました。最終講義の前には焼廣学長からのお言葉があり、その後、藤原学科長から福永先生のご略歴の紹介がありました。福永先生は広島大学から開学と同時に臨床工学技士を志す学生たちに来られ、長期にわたり臨床工学技士を志す学生たちに講義や指導をされてきました。私も2年間ではありませんが、臨床工学技士にとって必要な医療機器の基礎知識であったり、物理や数学といった機械を理解する上で大切な学問を教えて頂きました。

最終講義の内容の前半は福永先生がいくつの特許を持つていらつしやる人工心臓についてお話しされました。人工心臓とは生体の心臓の働きを代行する小型の血液ポンプで、心臓を全て摘出して埋め込まれる全置換型人工心臓と、心臓を温存して心機能を補助する補助人工心臓の2種類に分類

されます。福永先生は全置換型人工心臓の研究をされており、ご自身がなされた研究や、駆動方法の種類などを説明されました。私は人工心臓の大まかな知識しか持っていなかったのですが、福永先生の講義で聞いたことは新鮮で大変興味が湧きました。講義の後半は本学にいられてから、卒業研究を担当した学生たちが手掛けてきた研究内容の解説をされていきました。それらの研究の中で特に印象に残ったのは、小動物の除細動器の実験やシミュレータでした。さらに、第1期生第17期生までの担当された学生の氏名を全員分読み上げ、これまでにこれ多くの学生の指導を行ってこられた点も印象的でした。今回の講義でも得ることが多くあり、改めて素晴らしい先生から授業を教わっていたのだと認識できました。最後には福永先生の研究室の学生たちから花束が贈られ、福永先生は笑みを浮かべて最終講義を終えられました。来年度からは名



(写真) 福永先生へ花束とお酒を贈呈しました

臨床検査技師国家試験

●受験前は失敗したらどうしようと不安な気持ちがあったのですが、これまで自分が勉強したことを信じて受験した結果、無事60%以上取ることができました。今はホッとした気持ちと試験が終わった解放感でいっぱいです。国家試験の勉強方法としては、まとめノートを作成し、過去問や模試で新しく学んだことを付け加えていき、いつでも見直せるようにしていました。また、過去7年分の国家試験の問題の解説を作り、何回も繰り返し解いて記憶が定着するようにしていました。国家試験を終えてみて、2、3年のうちから先生から頂いたプリントや授業内容を理解しておくことの大切さを痛感しました。国家試験が近づくにつれてますます大変になるとは思いますが、自分を信じて頑張ってください。

私も2年後の今頃は国家試験を受験していると思います。今回、4年生の先輩から頂いたメッセージを参考にし、勉強を頑張りたいと思います。(坂下茉奈美)

開学20周年記念 臨床工学同窓会

1期生から16期生までの卒業生、在学生、さらに教職員も出席し、大変盛大な同窓会になりました。卒業生は久しぶりに再会した友人や恩師の先生方と懐かしい話で盛り上がっていました。卒業生の多くは病院などの医療施設で働いており、多くの経験を積んでいます。中には働いている医療施設の技士長や主任をされている方々もいらつしや、在校生はこのような方々と接する機会にない機会というところもあって、卒業生と話し込んでいました。今回の同窓会で先輩後輩との「縦の繋がり」が重要だと改めて感じました。次回同窓会は5年後を予定しています。多くの方々出席をお待ちしています。(8期生 徳毛悠真)



(写真) 臨床工学同窓会集
合写真

今後の大学・学科の予定

- 3/4 (日) 臨床工学技士国家試験
 - 3/11 (日) 救急救命士国家試験
 - 3/15 (木) 学位記授与式
 - 3/28 (水) 履修ガイダンス(新3、4年生)
 - 3/29 (木) 履修ガイダンス(新2年生)
- 作成者(医療技術学科クラス委員)
- 水國あゆみ(4年臨工)
 - 森元夏海(4年臨工)
 - 百合野真由(4年臨工)
 - 三澤英里子(4年臨工)
 - 宮内 彩(4年臨工)
 - 大畑泰斗(4年救急)
 - 竹中佑介(3年臨工)
 - 森山翔太(3年臨工)
 - 斧幸一郎(3年臨工)
 - 中澤歩美(3年臨工)
 - 西沙智圭(3年臨工)
 - 佐藤華絵(3年救急)
 - 田中芹奈(3年救急)
 - 小嶋元氣(2年臨工)
 - 和田実汐(2年臨工)
 - 木嶋仁美(2年臨工)
 - 坂下茉奈美(2年臨工)
 - 平尾 怜(2年救急)
 - 掛橋夢佳(2年救急)
 - 浦山稜汰(1年臨工)
 - 橋本悠平(1年臨工)
 - 竹内正志(1年臨工)
 - 平田雄大(1年臨工)